

施策目標 :

欧州地域の安定と繁栄の確保を目指し、域内諸国・地域間における未来に向けた友好関係を構築し、日本にとって望ましい国際環境を確保すること。

施策評価（総括） :

既存の国際秩序が大きく揺らぎ、地政学的競争が激化し、欧州・大西洋とインド太平洋の安全保障の不可分性がますます明らかとなっている中で、自由、民主主義、人権、法の支配といった価値や原則を共有する欧州との連携強化は一層重要になっている。このような観点から、首脳級を含む多層対話の実現し、欧州諸国との信頼を一層強固なものとし、政治・安全保障・経済関係を強化するとともに、日欧相互理解の基盤を強化した。また、人的交流や経済協力を深化させ、国際協力強化に関する共通認識を醸成し、地域情勢・国際課題への連携を緊密化して、欧州地域の安定とウクライナ支援などにも寄与した。

こうした取組により5つの分野に掲げる目標が一定程度実現され、対欧州地域外交の必要性及び有効性が確認された。よって、施策目標は妥当である一方、予算・渡航費の制約による対外発信の運用課題も判明したことから、今後は、同目標を維持し、対話・協力と人的交流を一層深化させるとともに、デジタル技術や経済安全保障などの新興分野における連携を重点化し、地政学的変動や新興課題に機動的・多角的かつ戦略的に対応する。

外部有識者の所見（概要） :

- 欧州地域外交は、欧州・大西洋とインド太平洋の安全保障が不可分となる中、日本に望ましい国際環境を確保する重要施策であり、目標の妥当性は高い。近年の国際情勢に鑑み、特に法の支配や多国間協力を維持する上で、欧州と日本の連携はかつてなく重要になっている。
- ロシアによるウクライナ侵略が長期化し、中国・ロシア・北朝鮮の連携も深まる中、欧州との政治・安全保障協力、ウクライナ支援、経済安全保障、サイバー・デジタル分野での連携強化は一層重要である。首脳級を含む多層対話を通じ、日欧間の信頼と協力基盤を強化した点は評価できる。
- 欧州連合（EU）や北大西洋条約機構（NATO）、欧州安全保障協力機構（OSCE）との更なる関係強化、日EU経済連携協定（EPA）の利用率の着実な進捗、欧州諸国との法的枠組みの進展、対日理解促進交流プログラム「MIRAI」の着実な進捗、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の機会を活用した要人訪日、日英経済版2 + 2閣僚会合の実現、日英部隊間協力円滑化協定（RAA）や日・伊物品役務相互提供協定（日伊ACSA）などの締結、ウクライナへの総額200億ドルの支援実績、ウクライナ地雷対策会議の主催、日露青年交流事業・日露草の根交流事業などの継続などについてはこれまでの外交的努力の成果として高く評価される。
- 安全保障、経済という伝統的な領域に加え、環境などのさまざまな地球規模課題の対処、貿易などの多国間協力の維持においても、欧州諸国との連携強化が課題になる。
- 欧州側対インド太平洋関与を一過性に終わらせず、NATO、EU、英国、フランス、ドイツなどとの協力を具体的成果に結びつける必要がある。今後は、価値の共有に加え、防衛産業、重要技術、経済安全保障、エネルギー、偽情報対策などで実践的協力を制度化することが課題である。

施策 I - 4 : 欧州地域外交

【参考】予算額・執行額等	区分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
施策の予算額・執行額等 （分担金・拠出金除く）	予算の状況	1,142	1,155	1,089
	執行額	757	773	657
同（分担金・拠出金）	予算の状況	5,436	3,848	5,074
	執行額	5,436	3,848	5,002

（注）百万円単位。当初予算、補正予算、繰越し等を含む。

令和6年度欧州(5か国) における対日世論調査結果



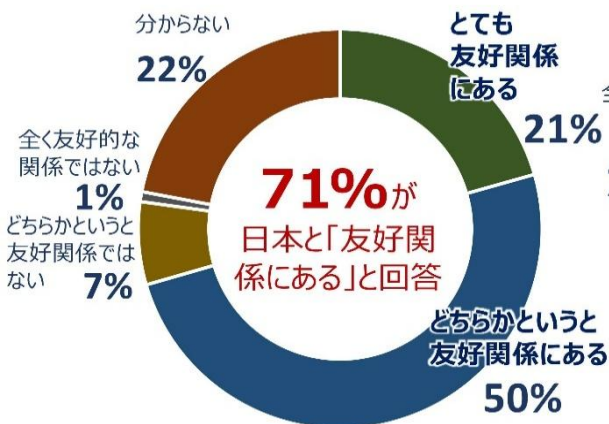
調査対象国：欧州（英国、ドイツ、フランス、イタリア、ハンガリー）
調査対象者：18歳～69歳の男女2,500名（各国500名）
調査方法：インターネット調査
調査期間：2024年10月-11月 調査機関：Ipsos

※回答の比率は四捨五入のため合計が100%にならない場合があります。

2025年3月14日

I. 対日関係

Q. あなたの国と日本は現在どのような関係にあると思うか。



II. 信頼関係

Q. あなたの国の友邦として、今日の日本は信頼できると思うか。

*74%≡とても信頼できる26.4%+どちらかという信頼できる47.3%=73.7%



III. 平和国家としての日本の歩み

Q. 日本の平和国家としての歩みについてどう思うか。

*80%≡大いに評価する41.4%+ある程度評価する38.2%=79.6%

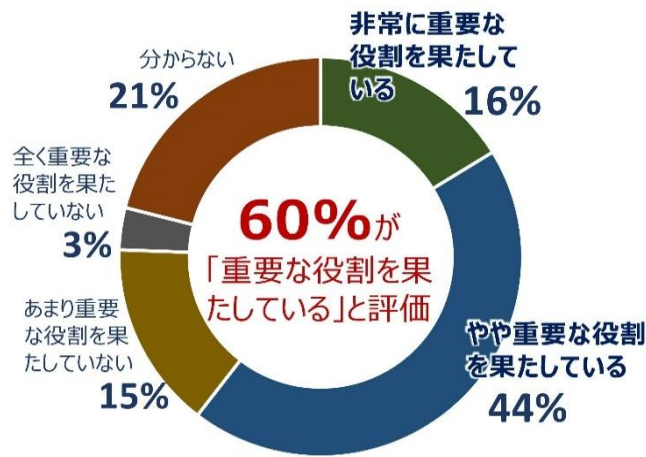


IV. 日本の役割と貢献

Q. 日本は世界経済の安定と発展にどの程度重要な役割を果たしていると思うか。

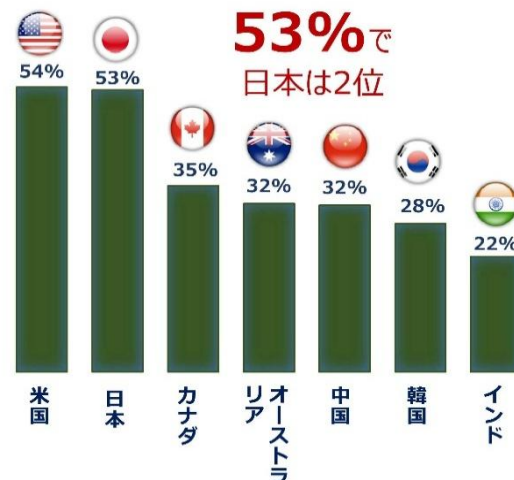


Q. 日本は国際秩序の安定（含む法の支配、自由民主主義、自由貿易体制）にどの程度重要な役割を果たしていると思うか。



V. 連携を強化すべき域外パートナー

Q. 現在、欧州が連携を強化すべき域外のパートナーはどの国だと考えるか。（複数回答可）



令和6年度中央アジア における対日世論調査結果



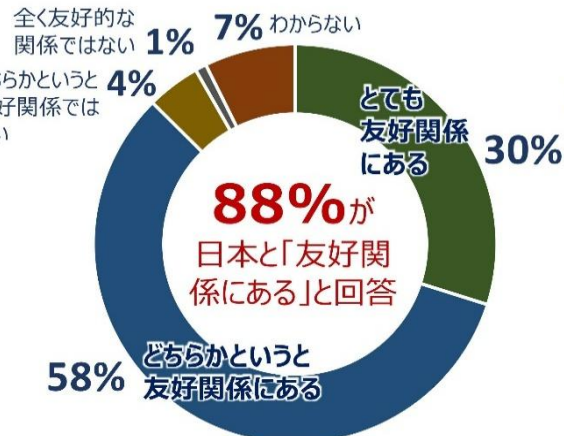
調査対象国：ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン
調査対象者：18歳～69歳の男女1,200名（各国300名）
調査方法：インターネット調査/電話調査
調査期間：2024年10月-12月 調査機関：Ipsos

※回答の比率は四捨五入のため合計が100%にならない場合があります。

2025年3月14日

I. 対日関係

Q. あなたの国と日本は現在どのような関係にあると思うか。



II. 信頼関係

Q. あなたの国の友邦として、今日の日本は信頼できると思うか。



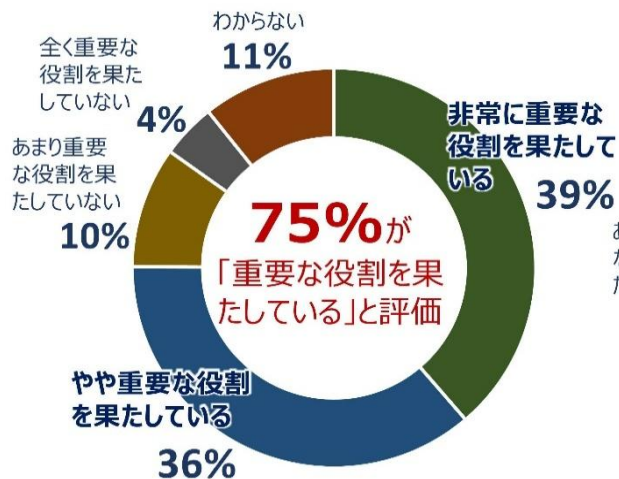
III. 平和国家としての日本の歩み

Q. 日本の平和国家としての歩みについてどう思うか。



IV. 日本の役割と貢献

Q. 日本は世界経済の安定と発展にどの程度重要な役割を果たしていると思うか。



Q. 日本は国際秩序の安定（含む法の支配、自由民主主義、自由貿易体制）にどの程度重要な役割を果たしていると思うか。



V. 今後の重要なパートナー

Q. 今後重要なパートナーとなるのは次の国・機関のうちのどの国・機関か。（複数回答可）

